

[ASAHIKAWA Polyphony on the Earth, 2008] Concert

[旭川ポリフォニー, 2008] 公演

# Sofia KARLSSON

## ソフィア・カールソン

ソフィア・カールソン バンド/Sofia KARLSSON Band

2008

10.18 [土/Sat.]

18:30p.m.-20:30p.m. [18:00p.m.開場/Open]

北海道 旭川市民文化会館 大ホール

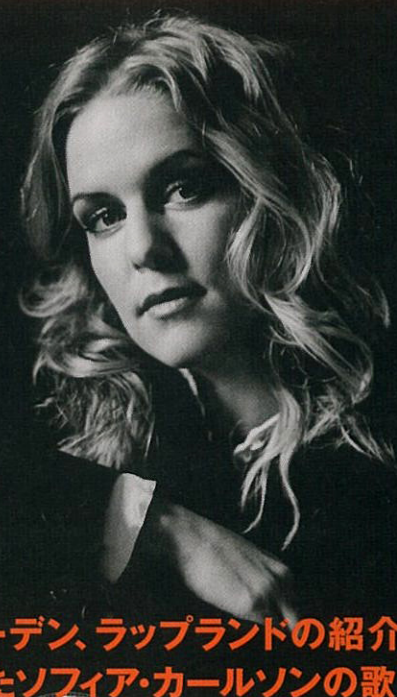
The Large Hall of Asahikawa Community Culture Center

全席自由  
Non-reserved seat

¥1,500



◎ソフィア・カールソンバンド  
1. ソフィア・カールソン/Sofia KARLSSON (ヴォーカル、ギター)  
2. ミカエル・ストロムベリ/Mikael STROMBERG (ドラム)  
3. マックス・ユングレン/Mats YUNGBLAD (ベース)  
4. ニオレ・リンデル/Nicole LINDEL (バイオリン)



『世界遺産』[TBS] のスウェーデン、ラップランドの紹介で  
美しい映像とともに流れたソフィア・カールソンの歌声が、

### 旭川で日本初公開。

スウェーデンのフォークシンガー スウェーデングラミー受賞[2度]  
Swedish Folk Singer, Grammy Award

『芸術性豊かな言葉の響きが、完璧に並べられている。そしてカールソンの歌は、  
夢のように綺麗で美しい』—ミカエル・ストロムベリ/アフтон・ブラーデット

[ソフィア・カールソンバンド公演 オープニングアクト]  
Sofia Karlsson Band Concert/Opening Act  
18:30p.m.-18:45p.m.

## aasian kukka

フィンランドの伝統楽器(カンテレ)と、北欧フォークフルートの美しいアンサンブル

[アアシアンクッカ]



aasian kukka(アアシアンクッカ)  
あらひろこ [カンテレ]  
扇柳 トール [リコーダー他]



ASAHIKAWA Polyphony  
on the Earth, 2008

### Sofia KARLSSON

ソフィア・カールソン

ソフィア・カールソンはストックホルムの王立音楽院でフォーク・ミュージックを専攻。1998年から2002年の間は、「グルーバ」というスウェーデンのフォーク・ミュージック・グループに在籍。2002年にバンドをやめた後はソロ活動をはじめ。同年ソロのデビューアルバム「フォーク・ソングス」をリリース。多くの好評を得る。2005年、2作目となったアルバム「ほろ苦いバラッド」をリリースし、ソフィア・カールソンの名をスウェーデン中で知らしめることになる。そして、2007年の3作目アルバム「屋根裏部屋の歌」をリリース。

ソフィア・カールソンは、3度目のソロアルバムとなる「屋根裏部屋の歌」で2度目の「スウェーデン・グラミー」を受賞する他、スウェーデンのインディーズ・レーベルに贈られる「マニフェスト賞」、またデンマークでも「ダニッシュ・ミュージック・アワード」でベスト・フォーク・アルバム賞2007(外国部門)を受賞する偉業を成し遂げた。

「屋根裏部屋の歌」のひとつ前のアルバム「ほろ苦いバラッド」もまたゴールド・ディスク賞を受賞する成功を果たしている。「屋根裏部屋の歌」のリリースのすぐ後、2005年にリリースされた「ほろ苦いバラッド」はプラチナアルバムとなった。このアルバムはリリースされてから1年以上ポップチャートにランキングし、1975年からの総合ベストアルバムチャートで81位となる。

ソフィア・カールソンがスウェーデンのフォーク・シンガーの中で最も成功した人物であることはゆるぎない事実だといえる。

ソフィアの主なインスピレーションの源は、オルガンで賛美歌を弾いていたおばあちゃん、片手だけでアコーディオンを弾いていたおじいちゃん、いつも車の中で歌っていたお母さんを挙げている。その後、Fred Åkerström, Dolly Parton, Tracy Champion, Dansar Edward, Kirsten Bråten-Berg, Lena Willemarkといった著名なアーティストに影響を受けた。

### aasian kukka

アアシアンクッカ

フィンランドの伝統楽器「カンテレ」奏者のあらひろこと、ヨーロッパのあらゆる笛を使いこなす扇柳トールのデュオ。2005年に結成後、北海道を中心に全国で演奏活動を行っている。北欧の伝統音楽を中心に、北の空気をまとった音色と、ジャンルにとどまらない音楽性で、独自の音空間が魅力のユニット。

「カンテレ」は、フィンランドの民族叙事詩「カレワラ」にも登場する音色の美しい楽器。あらひろこは、米国で開催されたカンテレ作曲コンペティションで優勝。日本で第一人者として活躍中で、日本で初のカンテレキャンプを開催するなど、カンテレの普及やフィンランドとの音楽交流にも力を入れている。ユニット名aasian kukkaは、フィンランド語で「アジアの花」の意。